

来入見 1 日入学 1 月 2 9 日

1 月 2 9 日(水) に来年度入学する来入見・保護者の方をお迎えして、1 日入学説明会を行いました。今年も 5 年生が来入見さんと一緒に校内を見学したり、図画工作科で作ったパズルで遊んだりしながら楽しく交流することができました。一緒に手をつなぎ、笑顔で歩く姿、目線を合わせながらゆっくり話しかける姿に上級生らしい優しさを感じました。5 年生が最上級生となる準備を始めたのだなという手応えを感じました。4 月の入学式が楽しみです。



『ようこそ先輩』 ～久原小学校開校記念式～

本校 1 4 7 回目の開校記念日にあたり、2 月の全校朝会に平成 2 6 年度卒業生、博多青松高等学校 2 年入江亮太さん(キックボクシングアンダー 5 5 キロ級チャンピオン)を招いて、講演をしていただきました。現在、キックボクシングの世界チャンピオンという夢に向かって努力を続けていることや夢や目標は恥ずかしがらずに声に出して伝えると自分自身の力になるということ、経験をもとに熱く語ってくださいました。試合の動画やキックの実演には、子ども達の間も釘付けになりました。久原小学校の子ども達にも入江さんのように自信をもって夢を語ったり努力を続けたりすることができる人になってほしいと思います。



2 月の行事予定

- 3 日(月) 全校朝会(開校記念式)
- 4 日(火) 消防署見学(3 年)
- 5 日(水) ○の会(全学年)
なかよし交流会(なのはな)
大縄大会(3・4 年)
- 6 日(木) チャレンジ(2 年)教育相談 6 年
大縄大会(2・5 年)
- 7 日(金) 代表委員会 大縄大会(1・6 年)
- 8 日(土) 土曜授業
- 11 日(火) 建国記念の日
- 12 日(水) らば一く(1～3 年)教育相談 5 年
- 13 日(木) 学習参観・懇談会
- 14 日(金) 6 年劇団四季観劇会
- 17 日(月) 5 年感謝の会
- 18 日(火) 久原っ子ネットワーク会議
- 19 日(水) チャレンジ(6 年)
- 20 日(木) 道徳推進の日(あいさつ運動・給食)
チャレンジ(3 年)教育相談 4 年
規範意識育成学習(5・6 年)
- 23 日(日) 天皇誕生日
- 24 日(月) 振替休日
- 25 日(火) 漢字がんばり週間～3 日
- 26 日(水) チャレンジ 5 年
- 27 日(木) チャレンジ 1 年
- 29 日(土) おわかれ集会 6 年感謝の会

☆ おわかれ集会の保護者参観は OK です。
ぜひ、お越しください。お待ちしております。

3 月の主な行事

- らば一く(1～3 年) 4 日(水)
- の会(全学年) 1 1 日(水)
- らば一く(4～6 年) 1 8 日(水)
- 6 年給食終了・修了式 1 6 日(月)
- 卒業証書授与式 1 7 日(火)
- 給食最終日(1～5 年) 1 8 日(水)
- 道徳推進の日(挨拶・弁当) 1 9 日(木)
- 修了式(1～5 年) 2 4 日(火)
- ※ 春休み 3 月 2 5 日～4 月 5 日

4 月の主な行事

- 令和 2 年度始業式 6 日(月)
- 久山中学校入学式 9 日(木)
- 久原小学校入学式 1 0 日(金)
- 全国学力状況調査(6 年) 1 6 日(木)
- 学習参観・PTA 総会 1 8 日(土)

久原っ子

たくさんの先生方に久原小のステキを見ていただきました。

1月24日(金)には本校で研究報告会を開催しました。本校で取り組んでいる「業務改善をめざした職員研修の在り方」という研究テーマは他に例がなく、多くの先生方に興味をもていただき、九州各県だけにとどまらず関西、関東の先生方にも来校していただきました。多くの先生方に久原っ子の生き生きとした学習の様子を見ていただいたり、6年生の美しい歌声を聴いていただくことができ、大変嬉しく思っています。また、多くのPTAの皆様にも、受付、駐車場案内、湯茶の世話など、ご協力いただきました。本当にありがとうございました。



さて、2月に入りました。2月は、別の言い方で如月(きさらぎ)といいます。その由来は、寒さで着物を更に重ねて着ることから、「着更着」とする説が有力だとされます。その一方で、年が明けてはじめて咲く花を「初花」(梅の花)ということから「初花月」「雪消月(ゆききえつき)」「木芽月(このめづき)」という言い方もあるそうです。新しい春を迎える準備が始まるようなイメージが湧いてきます。学校の桜の木も、芽が膨らんでいる感じがします。今年は、早い開花になりそうです。2月は、子どもたちにとって、次の学年に進級するための準備の始まりです。新しい春に向かって、前進できる2月にしてほしいと思います。

「脱皮できない蛇は滅びる」

教頭 木原 めぐみ

以前、先輩の先生から教えていただいた言葉です。とてもインパクトのある表現ですが、その言葉のもつ意味がストレートに伝わってきたので、忘れられない言葉になりました。後に、哲学者ニーチェの『曙光』の一節だと知りました。

脱皮する動物は、脱皮する前に内側に成長するためのエネルギーを蓄えているものです。成長のためのエネルギーを十分蓄えていなければ、脱皮は成就することができません。エネルギーの中には、知らないうちに少しずつ蓄えられているエネルギーもあるし、こつこつと努力を重ねることで蓄えられるエネルギーもあります。「滅びる」という表現は、ちょっと残酷で悲惨な感じがしますが、「自分らしく前向きに生きていくことができない」と解釈することもできます。ニーチェの言葉から伝わる強いエール(応援、励まし)に、まだまだこれから進化していきたいという静かなパワーが湧いてきます。

